

令和6年度 学校評価 結果分析

- 昨年同様に回答方式を Microsoft Forms を用いた一斉回答とした。
- 今年度、学校独自項目以外のアンケート項目を変更したことから、前年度との比較については一部同じ項目もあるが、すべての項目で来年度以降に実施することとした。

【生徒対象アンケート】

回答人数は昨年度と同様に回収することができた。概ね肯定的にとらえていることが見て取れる。

「わからない」とする回答率において通常は高校生活の経験度から、学年進行で減少する傾向があると考えられ、もちろんそのような回答結果もあるが、多くは2年生において「わからない」と回答する項目が、12項目にのぼった（項目1、2、3、5、8、9、10、12、18、19、20、22）

□ 学校独自項目において

向上した：2項目、低下した：4項目、そのうち肯定群（A+B）で昨年比5%以上変化したのは、2項目であった。

「23 学校は、MS リーダーズ活動や御嵩町の行事に参加するなど、地域の活動に協力的である。」
： -6%

「26 学校は、登下校におけるマナーの向上に努めている。」： -5%

□ アンケート全体で肯定群が9割近くに及び特に多い項目は、2項目であった。

「2 学校は、学年通信やホームページ、「すぐー」(メール)等で、様々な情報を伝えている。」
： A+B 89%

「24 学校は、「あいさつをする・時間を守る・身なりを整える」指導に取り組んでいる。」
： A+B 89%

□ 肯定群（A+B）が8割超の項目は、12項目であった。

□ 過半数の生徒が強く肯定している項目には、以下の11項目である。

「2 学校は、学年通信やホームページ、「すぐー」(メール)等で、様々な情報を伝えている」
： A 60%

「4 先生は、個人情報を含む配布物やテストなどを適切に管理している」： A 60%

「5 先生は、生徒のために一生懸命である」： A 62%

「6 体罰やハラスメントはない」： A 54%

「11 学校は、挨拶やマナーなどの基本的な生活習慣に関する指導を行っている」： A 57%

「12 学校は、いじめや差別を許さず、厳しく対応している」： A 54%

「13 学校は、生活安全（防犯、熱中症等）や交通安全、災害安全について適切に指導を行っている」： A 52%

「14 先生は、悩みや相談に親切に対応してくれる」： A 51%

「15 学校では、進路説明会等を実施して、進路や将来について考える機会をつくっている」： A 54%

「24 学校は、「あいさつをする・時間を守る・身なりを整える」指導に取り組んでいる」： A 52%

「25 学校は、「外国につながる生徒」の学習支援に力を入れている」： A 53%

□ 強い肯定群（A）が比較的低い項目として以下のものがある。

「1 学校の教育方針や指導目標を知っている」： A 30%

「7 授業の教え方や説明が分かりやすい先生が多い」： A 39%

「10 先生は、授業でICT機器を有効に活用している」： A 37%

□ 否定群（C+D）が2割超と比較的多い項目は、1項目であった。

「1 学校の教育方針や指導目標を知っている」：C+D21%

□ 強い否定群（D）が最も多かった項目は以下のものである。

「6 体罰やハラスメントはない」：D 8%

□ 不明群（E）が2割超と比較的多い項目は、1項目であった。

「20 学校は、生徒会活動が活発である」：E 20%

【保護者対象アンケート】

今年度も、Microsoft Forms を用いた回答形式で回答人数は例年と比較して極めて低くなってしまった。今年度は、学校運営協議会委員にも回答を依頼することができた。アンケート結果は概ね肯定的にとらえていることが見て取れる。

□ 肯定群が9割超と特に多い項目は、21項目であった。

□ すべての項目で、肯定群が8割超と多かった。

□ 強い肯定群（A）が比較的多い項目には、4項目であった。

「2 学校は、ホームページや「すぐーる」（メール）等で、様々な情報を伝えている」：A 74%

「5 学校に行ったときや電話したときなど、先生や事務職員の対応（挨拶や話し方）は適切である」：A 73%

「7 先生は、教育に熱心に取り組んでいる」：A 72%

「25 学校は、「外国につながる生徒」の学習支援に力を入れている」：A 72%

□ 否定群が1割超の項目は、1つもなかった。

□ 不明群が2割超の項目は、1つもなかった。最も多い項目で11%であった。

「6 学校が集めるお金について、適切に処理するとともに、その内容についてホームページで公表している」：E 11%

「12 先生は、授業等でICTを積極的に活用し、生徒の理解を高めようと努力している」：E 11%

「22 先生は、授業中に一人一人のよさや努力を認めるように努めている」：E 11%

「23 学校は、MSリーダーズの清掃活動や御嵩町の行事に参加するなど、地域の活動に協力的である」：E 11%

【生徒と保護者等の比較】

全体として、生徒に比べて保護者等の方がより肯定的にとらえている傾向がみられる。これは、否定的な回答が少ないことに加え、わからないという回答も少ないことによる。

□ 生徒と保護者等で概ね共通の質問項目のうち、肯定群の差異が特に小さかった（5%以下）は3項目である

「学校は、学年通信やホームページ、「すぐーる」（メール）等で、様々な情報を伝えている（学校は、ホームページや「すぐーる」（メール）等で、様々な情報を伝えている）」：差 5%

「学校は、挨拶やマナーなどの基本的な生活習慣に関する指導を行っている（学校は、高校生としてのマナーや社会規範を身に付けるための指導を行っている）」：差 5%

「学校は、「あいさつをする・時間を守る・身なりを整える」指導に取り組んでいる」：差 5%

□ 概ね共通の質問項目のうち、生徒と保護者等で肯定群の差異が20%以上と特に大きかった項目には以下のものがある。

「体罰やハラスメントはない（学校は、体罰やハラスメントの防止に努めている）」

生徒：A+B 67% 保護者：A+B 89%